

小栗上野介情報79

ホームページHttp : //tozenji.cside.com/ Eメール : tozenji@clock.ocn.ne.jp



2021(令和3)年4月
発行:東善寺 住職 村上泰賢
群馬県高崎市倉渚町権田169
〒370-3401
Tel・fax:027-378-2230
〒振替00120-1-406206東善寺

◆小栗主従殺害の前に信州下諏訪で赤報隊を斬殺してきた…

赤報隊を斬殺

謀略体質の東山道軍 (西軍・明治新政府軍)

◆赤報隊は、西軍への協力先触れ隊

1868慶應四年一月、西郷隆盛や岩倉具視の支援を受け新政府の許可を得て東山道軍の先鋒隊として一番隊隊長相楽総三、以下二番、三番隊の赤報隊が結成された。公家の綾小路俊実、滋野井公寿らを盟主として、中山道の各地で「これからは年貢を半減する」と触れて西軍への賛同協力を呼びかける「嚮導先鋒」を命じる太政官の坊城大納言名の勅書を得て、先頭は和田峠を越え碓氷峠まで進んだ。その頃朝廷は「年貢半減」は実行不可能で新政府の財政が立ち行かなくなるとして、早くも一月末にこれを取り消していた。そして東山道鎮撫総督府は軍議を名目に相楽総三らを下諏訪へ呼び戻して捕え、諏訪大社秋宮の木に縛ってミゾレの氷雨に一晚さらし、翌三月三日夕刻、取調べのないまま「ニセ官軍」の罪名を着せて部下七名とともに斬首した。



諏訪大社秋宮

◆相楽総三はもと薩摩強盗の頭

殺された赤報隊の相楽は江戸赤坂に生まれ、本名は小島四郎将満。国学と兵学を学び、若くして私塾を開いて多くの門人を抱え、23歳の時に尊王攘夷活動に入る。1867慶応三年十月の徳川慶喜の大政奉還で倒幕の機運をそがれた西郷隆盛、大久保利通から、幕府を挑発して幕府との戦争のキッカケにしたいとの意を受け、相楽総三は薩摩藩士益満休之助、伊牟田尚平らと江戸に入った。三田の薩摩藩邸を根城に浪士約500人を集め、放火・暴行・殺人・掠奪を繰り返して「薩摩御用盗」と江戸町民を震え上がらせた。

薩摩強盗の例

「庄内藩巡邏の一人なる山下英蔵の直話に、本郷追分に高崎屋と云ふは、時節柄戒心(用心)して、夜は店舗を角材格子作とし、固く鎖して二階に警鐘を釣ったり、然るに、多人数押掛け榔槌を以て打破り、闖入したる故、警鐘を鳴したれば、近傍より馳集るに、忽ちその両三人を斬殺し、高崎屋の家族七人を殺して、金銀を悉く奪ひ去る」ここまででは強盗が薩邸の浪士だと断定してゐないが、その後、「十二月十八日、浅草市の日なりしが、薩邸潜伏の巨魁三名、品川の「土蔵相模」に遊蕩すと聞き、直ちに逮捕に向ひたるに、二人取逃し、一人切捨、確證を得、尚精査するに愈相違なし」【長谷川伸『相楽総三とその同志』】

◆一石二鳥の赤報隊殺害

1867慶應三年十二月二十五日幕府と江戸市中取締の庄内藩によって三田の薩摩藩邸が焼き討ちされると、相楽は品川沖から薩摩藩の翔鳳丸で逃れて京都に入り、一月初めに西郷や岩倉具視の指示で赤報隊を結成している。

焼き討ちを喜んだ西郷隆盛 西郷はこれで幕府と戦争ができると喜んだ

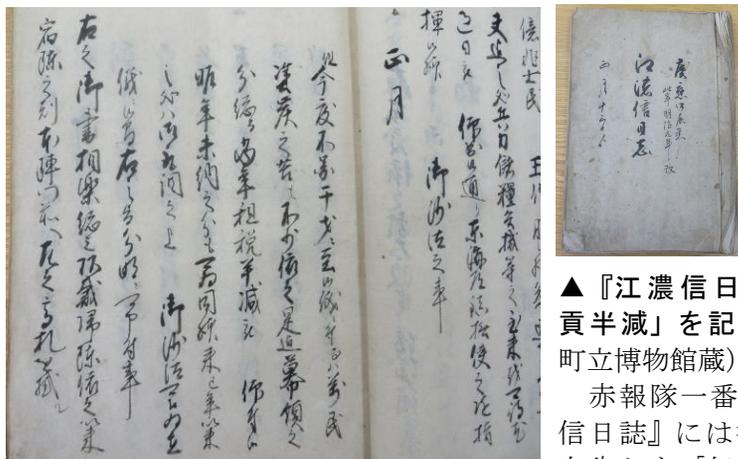
「西郷吉之助は三田邸焼討の報告を聞き、秘計の成就せるを喜び、之を谷守部(谷干城)に語りて曰く、戦端開けたり、速に乾君(板垣退助)に報ぜよ、とこれは『隈山貽謀録』(『谷干城遺稿』上巻)にあり【長谷川伸『相楽総三とその同志』】

一石二鳥 結局、赤報隊は相楽総三以下8人が下諏訪で東山道軍によって斬殺されてしまう。この処分ですら明治新政府は、まさに一石二鳥で

- 1 実行不能で不都合となった「年貢半減令」と、
- 2 西郷・大久保の指令で行なった「薩摩御用盗」行為を共に闇に葬ったことになる。

小栗父子主従を斬殺 この品性に劣る謀略体質に満ちた西軍・東山道軍が碓氷峠を越え高崎まで来ると、次に行ったのが、「官軍」の名で小栗父子主従8人を殺害、家財を没収し入札売却で軍資金として持ち去るといふやはり品性劣る強盗殺人行為。

- ・ **共通点** 「取り調べなしで逆賊やニセ官軍として殺害」したこと。
- ・ **相違点** 小栗上野介は日本近代化の父といふべき人物だがいまだに逆賊扱い。相楽総三は西郷・岩倉の指示で行った元強盗殺人団の頭。昭和3年に維新に功績ありとして贈位され**名誉回復**。
- ・ **共通の関係者**：東山道総督岩倉具定(17歳・具視の二男)、副総督岩倉具経(16歳・具視の三男八千九)、参謀：土佐・乾退輔(のちの板垣退助伯爵)、薩摩・伊地知正治(のちに伯爵)、宇田栗園(岩倉家々人)、軍監：原保太郎(22歳・山口県知事)、豊永貫一郎(17歳)、大音龍太郎(24歳・初代群馬県知事)



▲「この度図らずも戦争となり万民の塗炭の苦しみは少なくないので、幕府領の分はすべて**今年の年貢は半分とする…**」



▲ 魁塚 赤報隊殺害地に立つ

▲『江濃信日誌』に「年貢半減」を記載(下諏訪町立博物館蔵)
赤報隊一番隊の『江濃信日誌』には行く先々で布告した「年貢半減令」が記録され、下諏訪の本陣前でも高札で示された。

◆ 予報 小栗まつりは 史跡めぐりと墓前祭

日時 2021令和3年5月23日(日)

式典・講演は中止

午前10時～ 小栗上野介史跡めぐり

申込 事前予約で申し込み小栗上野介顕彰会事務局へ
370-3402高崎市倉渕町三ノ倉303
電話：027-378-4522
kurabuchi-chiiki@city.takasaki_gunma.jp

当日 倉渕支所玄関前で受付一渡された「マップ」で顕彰慰霊碑一観音山一東善寺などを各自の車で訪ね、現地でスタッフから説明を受ける・・・というコロナ汚染防止で密を避けた形式で行います。
◆詳細はお問合せ下さい。



午後13:30～ 墓前祭

東善寺で墓前祭一挨拶・読経・献香一を行ないます。どなたも参加できます。

◆ 『小栗かるた』



小栗上野介顕彰会は『小栗かるた』を制作するため読み札を広く募集しています。
○「読み札」の公募 小栗上野介の業績などをいろいろな角度からみた読み札に応募してください。

【例】

- 人物に関するもの 小栗上野介、家族（又一忠道、道子夫人、…）栗本鋤雲、ヴェルニー
- 遣米使節に関するもの ポウハタン号、ワシントン造船所、世界一周、日米修好通商条約批准、通貨交換比率交渉 他
- 幕末に関するもの 対馬事件、攘夷運動
- 日本の近代化に関するもの 横須賀製鉄所、富岡製糸場、近代化構想（新聞、電信、鉄道、郵便） 他
- 上州隠棲に関するもの 東善寺、観音山屋敷跡、小高用水、小栗椿、罪なく斬らる 他
- 小栗上野介が残した言葉に関するもの 土蔵付き売家、幕府の運命日本の運命 他
- 顕彰に関するもの 道子夫人会津へ、御首級迎え、墓、顕彰慰霊碑、東郷平八郎の謝辞 他
- ・応募資格 小学生～大人までどなたでも
- ・募集期間 令和3年6月30日必着
- ・ハガキに 住所、氏名フリガナ、電話、学生は学校○学年、読み札の案（ハガキ一枚に1案）、その解説（できるだけ）を書いて
- ・送り先 倉渕支所内 小栗上野介顕彰会
370-3492 高崎市倉渕町三ノ倉303
027-378-4522 FAX：027-378-4024
- ・採用者には記念品を贈呈（合作の場合は代表者）

読み札 募集

本

『日本の海のレジェンドたち』

山縣記念財団80周年記念 住職が横須賀造船所建設で近代造船・海運に貢献した小栗上野介の業績を書きました。・海文堂2500円＋税



◆ 横須賀造船所の

カラー「横須賀明細一覧図」

住職が6年前から小栗上野介「日本産業革命の地・横須賀造船所」を連載中の『ファスニングジャーナル』紙（ネジの業界新聞）では、4月27日号に「横須賀明細一覧図」を1ページ大に拡大掲載します。明治16年のカラー版で、当時「蒸気機関による最新技術の造船所を見学できる」と大観光地となった横須賀の見学記念に人気のお土産となったもの。

◆ NHK大河ドラマ「青天を衝け」

渋沢栄一の物語が展開されていますが、6月初めの第19回でちょこっと家康が小栗上野介の人物を紹介する模様です。
*渋沢栄一と小栗上野介の関係は『小栗上野介情報78』号に掲載の通りです。

◆ 横須賀市「よこすか近代化遺産ミュージアム ティポディエ邸」

建設

・ヴェルニー公園に造船所副首長の官舎を復原し、5月末にオープンします。

東善寺から

「ネジ」特別展示

オープンを記念して遣米使節小栗忠順がこういうものをどんどん作れる国にしたいと持ち帰ったネジを、5月末～2ヶ月間、特別展示を行います。



横須賀市HPより

◆ 参道改修工事始まる

全国多くの方からのご支援をいただき、懸案の小栗上野介本墓への参道改修工事が始まりました。工事期間は～5月末まで。

その間、上の小栗公本墓への参拝は、下の供養墓左手の遊歩道「恋慕れん坂」から往復していただきます。ご協力をお願いします。



◆ 会津逃避行護衛隊長 中島三左衛門に感激 中島家（現在は「菅田家」）の墓清掃

ボランティア

小栗道子夫人らの会津逃避行を護衛し、帰郷後にこんどは館林から小栗父子の首級を奪取した権田村の農民で護衛隊長中島三左衛門の行動と人物に感激した小栗ファンの丸山勇司（さいたま市）・野沢幸宏（高崎市）さんは、12月からほとんど毎週末に十王堂墓地に通って、土で埋もれていた菅田家の古い墓石やお地藏様を掘り出し、背後を土留めしてきれいに清掃してくれました。
・「菅田」の名は権田へ帰郷後に前橋藩主から「武士も及ばぬ義の行ないだ」としていただいたもの。



◇ 幕末の歴史・小栗上野介ファンの方へ

会員になってください——東善寺「たつなみ会」

倉渕町の小栗上野介顕彰会ではさまざまな顕彰活動を行っていますが、地域の人口減で顕彰会員も減っております。東善寺の「たつなみ会」会員には顕彰会機関誌『たつなみ』を発行のつど顕彰会から購入してお送りし、誌代が顕彰会の活動資金に役立っています。また東善寺発行の「小栗上野介情報」や「東善寺だより」などで、小栗上野介・幕末関連の最新情報をお送りします。

□たつなみ会会費 年1800円 お申込み：東善寺へメールまたは電話、ハガキで

